

先週のマーケット動向(2月20日~2月24日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,298.0	1,306.2	1,293.1	1,304.8	+5.3
JPY/KRW	9.6592	9.6941	9.6010	9.6867	+0.043
KOSPI	2,453.25	2,466.07	2,416.16	2,423.61	▲27.60

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は概ね横這い。20日のドル/ウォンは1,298.0にてオープン。21日にかけてドル/ウォンは方向感に乏しい展開となった。しかし、21日海外時間に堅調な米経済指標が相次ぐと、ドル買いが進行。米中対立激化への懸念も意識されて、NDF市場ではウォンが他通貨対比弱含み、22日開始には週高値1,306.2まで上昇した。FOMC議事録の内容は、インフレ率が2%に向けて持続的な低下基調にあると確信するまで、景気抑制的な政策を継続するという従来の姿勢を踏襲するものであり、市場への影響は限定的。翌23日BOK会合では政策金利据え置き(3.5%)となった一方で、BOK総裁からは為替レートについて言及し過度なウォン安を若干牽制。結局、先週対比5.3ウォン上昇した1,304.8ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは直近高値を更新する展開を予想する。先週末の米経済指標はいずれも良好なものばかりであり、市場は景気のソフトランディングとインフレの長期化を意識する動きとなっている。加えて米中対立に係るニュースも目立つ中、ウォンは他通貨対比売られやすい状況が継続しそうだ。1,300付近では当局のウォン安けん制発言はあまり見られていないことから、この水準で大規模な介入に入るとは考えにくい。今週のドル/ウォンはさらに上昇する展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1300 ~ 1330	9.50 ~ 9.80	135.0 ~ 138.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 27日(月) 欧 2月 消費者信頼感指数 確報値
- 米 1月 耐久財受注 速報値
- 28日(火) 日 1月 鉱工業指数 速報値
- 米 2月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 1日(水) 欧 2月 製造業PMI 確報値
- 米 2月 ISM製造業景況指数
- 中 2月 製造業PMI
- 中 2月 非製造業PMI
- 3日(金) 欧 2月 サービス業PMI 確報値
- 中 2月 総合PMI
- 中 2月 サービス業PMI
- 米 2月 ISM非製造業景況指数
- 日 2月 東京都区内CPI
- 日 1月 失業率